

第1回「小樽市議会 市民と語る会」でいただいた質問・意見・要望等についての対応状況

		質問・意見等	答弁等	議会対応
議運	質問	議案について、いつ頃議会に示され質疑されるのか。	会期前、議案について資料とともに説明あり。その議案は付託先の各常任委員会で質疑される。(議運委員長)	左記のとおり当日回答済です。
	意見・要望	傍聴者にレジメがほしい。		対応済です。
	意見・要望	委員会の傍聴に行ったが、理事者や議員、委員長など見える工夫をしてほしい。		副議長の下、各会派からの委員で議会活性化のための議論をしている「議会活性化検討会議」で検討させていただきます。
	質問・意見	委員会の質問通告をしているのか。答弁しない不必要な理事者が多いが出席者の見直しをしてほしい。		結論が出ましたらお知らせいたします。
総務	質問	室内プールについて新総合計画の中で議会が早期に建設すると決めたが進んでいないがどうか。	6月議会で早期建設をお願いしていく。(総務委員長)	6月議会で質問した会派がありました。
	意見・要望	学校適配や総務で教育について議論されているが小樽市の子供達の学力の低下や、生活改善などを考えると独立して子供の教育について専門の委員会を作って議論していただきたいと思うがどうか。可能かどうか。	<ul style="list-style-type: none"> 学校適配委員会では当初の計画を示された際、学力の維持や、非行、少人数学級などについて大いに議論された経緯がある。(適配委員長) 特別委員会は改選後に設置の確認がされる。新たな設置は可能と思うが現時点では難しい。(議長) 	左記のとおり当日回答済です。
	意見・要望	新総合計画の前期計画を無視した市長、教育長の提案を議会は受け入れた。6月議会では会派、思想、信条関係なくして早期に予算付けしてほしい。(意見)		6月議会で質問した会派がありました。
	意見・要望	総合体育館は指定管理者になってから休館がなくなり利用しやすい。美術館も指定管理者にし利用しやすくしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 体育館の利便性が良くなっており美術館について同様の意見がある。 6月議会で取り上げると思う。(総務委員長)	第3回定例会の総務常任委員会において、委員会を代表して副委員長から市教委へ質問し、美術館及び文学館は、長期にわたる調査研究活動や企画展の開催など専門性の高い学術的な面を持つ業務のため、数年で代わる可能性がある指定管理者制度で行うことは現状では困難と思われるが、先進事例を研究したいとの答弁がありましたので報告します。
	意見・要望	妻が視覚障害者で入店拒否された経験がある。6月2日に小樽入りする盲導犬使用者団体の皆さんが気持ちよく帰っていただけるよう各機関に周知してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 後ほど詳しく聞きたい。(議長) ※昨年団体から市福祉協議会に協力要請があり、堺町商店街等の協力のもと終了。 	対応済です。

経済	質問・意見	第3号ふ頭の再開発の提案は市で作ったか、民間のシンクタンクか。身内だけでは新しい発想が出てこないと思うがどうか。	小樽商科大学院保田准教授はじめ公募市民、関連団体などで構成された委員会から提言を頂いた。(経済委員長)	左記のとおり当日回答済です。
厚生	質問	生活保護受給者から保護費では生活が苦しいと聞く。支給額はいくらか。また、受給者数はどうか。	・平成24年度の受給世帯は3,314世帯 受給者数は4,858人。 保護費の計算は級地や年齢、世帯構成などの条件で計算され一概に出せない。市の保護費の総額については平成23年度88億6千4百万となっている。(厚生委員長)	左記のとおり当日回答済です。
	質問	ピロリ菌検査の助成について関心があるが予算やその他の状況はどうか。	・1千2百万程度の予算を付ければ出来るとの答弁があった。 助成については、胃がんとピロリ菌の関係が、他のがんの発生との関係ほど強くない状況から取り組む段階ではない、との答弁があった。(厚生委員長)	左記のとおり当日回答済です。
	質問・意見	生活保護から自立する人もいるが人数は。情報も出すべきではないか。	・関心のある内容。廃止ケースまでは今回の資料には載せていません。しかし、廃止ケースについて毎年件数をおさえていますので後日回答します。 (厚生委員長)	生活保護から自立する件数については平成24年度で、405世帯558人が生活保護廃止となっており、そのうち64世帯が収入の増加・取得によるものと市長部局に確認しましたので報告します。
病院	質問	市立病院について建設地が変わった。今、築港地域に民間病院が建設され液状化現象が言われているがどうか。	・市が答えるのは失礼だと思う。(司会) ・地震等の場合に病院が使えなくなるのは私も心配。(病特委員長) ・市立病院の建設地決定の経過はあるが現在地に(量徳小跡地)決定したのは新病院管理者が着任後、地域や医師会等と話し合った結果として山田前市長に提案、方針転換が図られた。(北野議員)	左記のとおり当日回答済です。
	意見・要望	新市立病院には産科はないのか。小樽市は産むところが少ない。産科と小児科が連携できる環境整備してほしい。	・特別委員会等でも議論されているが今も診療科目について検討中。次の機会に報告したい。(病特委員長)	下欄のとおりです。
	意見・要望	新市立病院に産科を設置できないのか。	・道が周産期医療の拠点病院を協会病院に指定し、医師の確保も優先的に行われている。病特委員会では、道の方針からすると産科設置は難しいとの答弁をいただいている。(病特副委員長)	左記のとおり当日回答済です。
	意見・要望	新市立病院について、評判はロコミで広がるので良い医師を探してほしい。	・要望として受け止める。(司会)	医師確保については、各会派から責任者である病院局長に委員会質問を通じて申入れし、「がんばる」との答弁を得ていますので報告します。

	意見・質問	<p>新市立病院について高齢化の小樽市を見越して特色ある診療科を考えるべきと思うがどうか。</p> <p>新市立病院での国保と介護保険の利用の関係性はどうか。</p> <p>認知症対策は病院として考えているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3大疾病に対応できる病院を考えている。(病特委員長) ・新市立病院は介護機能を持たない病院で、急性期病院として出発する。(厚生委員長) ・施設の待機者を考えると積極的な対応が必要だが保険料に跳ね返るので懸案事項として議論されている(厚生委員長) 	左記のとおり当日回答済です。
	質問・意見	<p>新市立病院の診療科目の中には他の病院で担っていけるものがあるがどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CTなどの機器を入れ差別化を図る。高齢者が複数の診療科目を病院内で診てもらえる。(病特委員長) ・医師会と何度も議論して決まった診療科目である。(議長) 	左記のとおり当日回答済です。
建設	意見・要望	<p>小樽公園付近の駐車禁止区域について市外から来る方が違反で捕まっている。禁止区域の見直しを警察に要望してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を認識しており要望として受け止める。(建設委員長) 	<p>第3回定例会の建設常任委員会において、委員会を代表して副委員長から市長部局へ質問し、現在の駐車禁止が事故防止のため地元住民の要望で設置された経緯があることから、駐車禁止区域の見直し要請は難しいが、市外から来た人にも駐車禁止区域であることが認知できるよう、対策を考えていきたいとの答弁がありましたので報告します。</p>
各党	意見・要望	<p>語る会は議会と市民を近くする意味でよいと思う。また、議会だよりも各議員の質問が分かってよい。しかし意見書などの採択を見ると、政党の看板を背負っているように見える。市民の立場で態度表明してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・語る会は回を重ねるごとにわかりやすくしていきたい。また、陳情、意見書などは会派の考えがあるのは事実。各議員は市民要望を何とかしたいと思っているが、予算等市の財政等を考えながらなので全て全会一致で〇とはいかない。御理解いただきたい。(議長) 	左記のとおり当日回答済です。

は平成25年11月1日発行、小樽市議会だよりに掲載分です。